

大阪のスーパーシティについて

令和7年4月23日
大阪府・大阪市

目次

1 これまでの取組

大阪におけるスープーシティの概観

大阪スープーシティ全体計画の推進状況について（規制改革）

大阪スープーシティ全体計画の推進状況について（サービス）

大阪広域データ連携基盤【ORDEN】

2 万博後の展開

全体計画のフェーズⅢ（万博後）の検討について

大阪のスープーシティの流れ

1 これまでの取組

大阪におけるスーパーシティの概観

「健康といのち」をテーマに住民QoLを向上させる先端的サービスを展開

- 大阪のスーパーシティ構想のテーマは「データで拡げる“健康といのち”」。2つのグリーンフィールドで3つのプロジェクトを展開、大阪全体へ拡げていく。

データで拡げる“健康といのち”

2023年度～ 夢洲コンストラクション

3つの円滑化を推進

- 建設工事現場内外の移動
- 建設工事及び資材運搬
- 建設作業員の安全・健康管理



2024年度～ うめきた2期



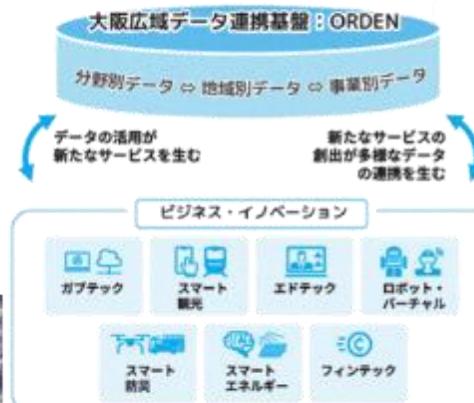
中核機能のテーマ

ライフデザイン・イノベーション

超スマート社会が到来する中、IoTやビッグデータなどの活用により、創薬や医療機器開発などの分野にとどまらず、人々が健康で豊かに生きるために新しい製品・サービスを創出

大阪広域データ 連携基盤ORDEN

公民の様々なデータ流通・連携を促進し、市民の利便性向上と、大阪の都市競争力の強化につなげていくため、スマートシティの実現に不可欠な社会インフラとして、2022年度に整備しました。



- 2つのグリーンフィールド
- ・夢洲
 - ・うめきた2期

2025年 大阪・関西万博

テーマ
いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ
Saving Lives (いのちを救う)
Empowering Lives (いのちに力を与える)
Connecting Lives (いのちをつなぐ)



提供：2025年日本国際博覧会協会

住民QoLの向上と
都市競争力の強化を
めざす

大阪全体への波及

輝く未来社会

大阪スーパー・シティ全体計画の推進状況について（規制改革）

- ▶全体計画に位置付けた複数の規制改革が実現し、万博に向けた先端的サービスに活用されるなど、効果を發揮
- ▶一部の規制改革については、万博までの時間的制約やコスト面の課題等により、実現困難となったものがある（実現困難なものについては、サービス内容を現行制度下で実現可能ななものに変更する等により社会実装を進めた）
- ▶今後も、これまでの取組を検証・分析の上、引き続き取組を展開していく

実現した規制改革

- AIを活用した気象予報に係る気象予報士の設置基準の緩和
- シャトルバスを活用した資材運搬（貨客混載）
- 未承認医療機器等の一般向け展示
- 特定自動運行（自動運転走行（レベル4）の運転者がいない状態での自動運転）の許可制度の創設
- 空飛ぶクルマの社会実装に向けた制度整備

- 万博に関する仮設建築物の建築に係る特例
- 万博に関する仮設工作物の設置に係る特例
- ローカル5Gの広域的な利用（他者土地利用）に関する規制の緩和
- 外国人一般を診療対象とした二国間協定の対象国の拡大
- 外国人企業活動促進事業に係る在留資格の変更に係る特例

当初提案したが、検討継続が困難となった規制改革

- ▶万博工事におけるシャトルバスの自動運転化（自動運転走行（レベル2）を大型第一種免許で可能にする）
(理由) 万博工事におけるシャトルバスの自動運転化未実施となつたため
- ▶機能性表示食品における表示できる機能の拡大
(理由) 大阪ヘルスケアパビリオンの展示体験において対象となるものがないため

今後も引き続きチャレンジする規制改革

- ▶ドローンの非接触充電のポート設置にかかる規制緩和 等

大阪スーパーシティ全体計画の推進状況について（サービス）

- ▶全体計画に位置付けられた各プロジェクトの先端的サービスについて、順調に実施中
なお、一部のサービスについては、規制改革が実現したものの、提案後の事情変化等により、一部内容を変更し実施中のものもある
- ▶今後は、これまでの夢洲・うめきた2期での取組を継続・展開するとともに、これらの取組の検証・分析を通じ、夢洲・うめきた2期以外のエリアにおいても活かしていくことが重要。

夢洲コンストラクション

○AIカメラを活用した車両認識による入退場管理

車両予約登録情報をもとに、AIカメラでの車両認証を行うことで、建設現場への円滑な入退場管理を実施

○AIによる局所的な気象予測提供サービス

AI技術を用いた気象予測データを、天候に応じた作業予定の見直し、作業員の健康管理に活用

○建設現場におけるドローン活用

ドローンを活用した測量・工事管理や、資材運搬、高所などへの資材配送を実施

●夢洲建設工事におけるシャトルバスによる貨客混載輸送

当初、夢洲への交通量削減を目的として建設作業員のシャトルバスで工事関係の携行品等の運搬（貨客混載）を予定
➡インフラ整備等の対策により交通量が安定していることから、シャトルバスには作業員のみが搭乗している

大阪・関西万博

○自動運転（レベル4）

万博アクセス、会場内移動での実現をめざしインフラ整備、走行試験等を実施



○空飛ぶクルマ

会場内外のポートをつなぐ2地点間運航等の実現をめざしポート整備、機体開発（民間）等を実施



○大阪ヘルスケアパビリオン

大阪府と大阪市がREBORNをテーマにオール大阪で出展する「大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn」では、未来の医療・健康サービスを提供



うめきた2期

○ミラージュ大阪

R6.9.6にはグラングリーン大阪として先行まちびらきが実現し、最新の空間コンピューティング技術による新時代の空間エンターテインメントプロジェクト「ミラージュ大阪」開始



●大容量通信網の整備 (ローカル5G等)

当初、多様なリアルタイム・オンラインサービスを支える大容量通信網（ローカル5G）の整備を検討
➡事業者において、コスト面の課題から、ローカル5Gは用いず、まずはキャリア5Gによるサービスを開始

○：実施中

●：一部内容を変更し実施中

大阪広域データ連携基盤 【ORDEN】

- ▶大阪スーパーシティの目標である「住民QoLの向上」と「都市競争力の強化」を実現し、全国の自治体を先導するデータ連携基盤として構築
- ▶住民QoLの向上を図る、府と市町村の行政サービスのワンポータル化をめざす総合行政ポータルとしての“my door OSAKA”や、都市機能の強化を図る、官民の多様なデータ利活用を促すプラットフォームとしての“ODPO”など、様々なサービスを基盤上に展開。

住民QoLの向上

都市機能の強化

行政サービス

総合行政ポータル

my door OSAKA
(マイドア・おおさか)

府と市町村のポータルをワンID／ワンポータル化し、行政サービスを高度化



マイナンバーカード登録公的個人認証サービス



行政主導のデータ利活用サービス

官民データの利活用

官民の多様なデータの価値を最大化

①3府県情報連携（全国初）



②データによる防災アプリの高度化



③オープンデータの“見える化”



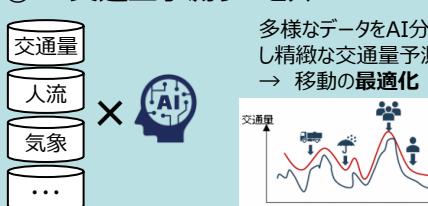
民間サービス

民間主導のデータ利活用サービス

移動に関する最適化サービス

万博を期に様々な“移動”を最適化

①AI交通量予測サービス



②OSAKAエコライドサービス（仮称） (エコ&周遊&混雑緩和) ※R7は実証

移動の最適化

レコメンド + NFTスタンプラリー + デジタルクーポン



データカタログ／取引市場

ODPO
(Open Data Platform in Osaka)

官民の多様なデータ利活用を促すプラットフォームでイノベーションを創出

イノベーション創出

商品開発



Hackathon

ハッカソン等



データ提供者



データ利用者

ID連携基盤

データ連携基盤

【大阪広域データ連携基盤（ORDEN）】

官民の多様なデータ（行政データ・民間データ／オープンデータ・クローズデータ／静的データ・動的データ／パーソナルデータ・非パーソナルデータ／有償データ・無償データ）

2 万博後の展開

全体計画のフェーズⅢ（万博後）の検討について

スーパーシティのこれまでの主な成果と今後の課題

- ・大阪のスーパーシティでは、2025年大阪・関西万博をマイルストーンとして、「夢洲・うめきた2期」という2つのグリーンフィールドにおいて、「夢洲コンストラクション、大阪・関西万博、うめきた2期」という3つのプロジェクトを進めてきた。
- ・併せて、**データ駆動型社会**の実現をめざし、ORDENによるデータ連携・活用を進め、複数の先端的サービスの実装とそのために必要な規制・制度改革に力をいれてきた。
- ・一方、全体計画（R4策定）では、**フェーズⅢ（万博後）**における新たな展開に係る府・市の方針・取組等が具体化されておらず、**大阪スーパーシティの持続的発展**のためにも、新たな展開の検討が急がれる。

フェーズⅢ（万博後）に向けた方向性

先端的サービス・規制改革



データ連携基盤【ORDEN】

① 夢洲・うめきた2期におけるさらなる展開

- 万博後の未来社会の実現に向けた規制・制度改革に係る新規提案やプロジェクトで実現した先端的サービスの展開促進を図る。

② 新たなフィールドへの展開

- 「住民QoLの向上」と「都市機能の強化」をさらに加速させるため、新たなフィールドにおいても、規制・制度改革提案が生まれる自立的・持続的な仕組の構築を検討し、スーパーシティの取組を拡大・加速させる。

③ データ連携基盤の利活用推進と共同利用展開

→ ORDENの利活用推進

- ・ my door OSAKA や ODPO など、実装しているサービスの更なる展開と、「夢洲」・「うめきた」・「新たなフィールド」における一層の利活用推進。

→ ORDENの共同利用展開

- ・ データ駆動型社会の実現を加速するとともに、その成果を横展開し、持続的に発展させるため、共同利用にも取り組む。

全体計画のフェーズⅢ（万博後）の検討について

①夢洲・うめきた2期におけるさらなる展開（例）

フェーズⅠ・Ⅱの取組状況を踏まえ、引き続き、夢洲・うめきた2期における取組の成果の横展開や、データ連携・活用のユースケースを検討。フェーズⅠ・Ⅱの取組成果について、以下の事例のとおり、民間事業者による展開の促進を図る。

事例1：夢洲2期開発におけるサービスの実装

・万博工事における夢洲コンストラクション等で実現した最先端技術やサービス等を、夢洲第2期区域の開発において展開



建設工事向けAI気象予測サービスのチャット画面（イメージ）

（株）大林組提供

事例2：万博で実証した先端技術の社会実装

・自動運転や空飛ぶクルマなどのモビリティや、大阪ヘルスケアパビリオンに出展する中小企業やスタートアップの先端技術等



EVバス
(レベル4自動運転)

Osaka Metro HPより

事例3：うめきた2期全体まちびらきに向けたサービス開発

・PHR連携のプラットフォーム構築など、企業等との連携強化により、PHR活用モデル等を発信等



グラングリーン大阪HPより

②新たなフィールドへの展開

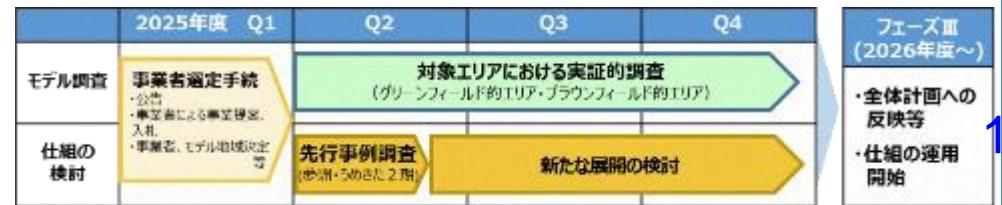
夢洲・うめきた2期の取組の成果を、万博後においても自立的・持続的に発展させていくため、スーパーシティの新たな展開を検討する。

- ・ORDEN等によるデータ連携・活用、規制・制度改革提案等に向けて、令和7年度は新たにスーパーシティの取組を行おうとするエリア・企業等からの提案を募り、一定の要件を満たすエリア・企業等それぞれを大阪府・大阪市が選定の上、選定されたエリアと企業等とのマッチングや、それらに係る規制・制度改革提案の共同検討、プランディング支援など、官民一体となってスーパーシティ発展に向けた自立的・持続的な仕組の構築に向け検討し、令和8年度以降に当該仕組の本格稼働を開始する。
- ・R7仕組の検討手法：スーパーシティの新たなフィールドとなり得るエリア（※）において、モデルとなるべきスーパーシティ像のさらなる明確化を図るための実証的調査（モデル調査）等に取り組む。
※グリーンフィールド的エリア（新たな都市開発を行うエリア等）、ブラウンフィールド的エリア（すでに人が住んでいるエリア）の各1か所程度を想定

【新たな展開のイメージ】



【想定スケジュール】



全体計画のフェーズⅢ（万博後）の検討について

③データ連携基盤の一層の利活用推進と共同利用展開

I ORDENの一層の利活用推進

先駆的なデータ連携基盤を横展開

「住民QOLの向上」と「都市機能の強化」を実践する、ORDEN上に展開する多様で豊富なサービスを一層発展させ、スーパーシティのデータ連携基盤として全国をけん引。

1. my door OSAKA (マイド・ア・おおさか)

1) 多くの住民に利用いただくための市町村展開

《目標》令和9年度に15団体以上



2) 利便性向上のためのサービスの拡充

- ① 配信する行政サービスコンテンツの充実
- ② ID連携で多様なサービスと繋がる

シングルサインオンの拡充



2. ODPO (Open Data Platform in Osaka)

1) 官民データの更なる拡充と利活用推進

《目標》令和9年度に1100データカタログ



2) ハッカソン等によるユースケース創出

アイデアソンやハッカソン等の開催により、データ利活用によるユースケース創出を推進



3. その他のデータ利活用推進

1) “移動最適化”サービスの展開

- ◆ AI交通量予測システムの横展開
- ◆ スマート・エコライドサービス（仮称）の実証



2) オープンデータの“見える化”的充実

- ◆ デジタルMAPの充実（地理空間情報の活用等）
- ◆ ダッシュボードの充実



II ORDENの共同利用展開

スーパーシティの取組・知見を幅広く展開するとともに、重複投資の回避・コストの低減や、多様で質の高いサービス提供等を目指すため、「持続可能なデータ連携基盤」としての横展開を推進

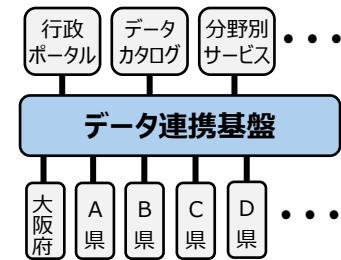
1. データ連携基盤の共同利用推進

共同利用に取り組む意義・メリット

1) 開発・運用コストの低減

- ① 基盤の開発・運用コストが低減。より広域で取り組むことでスケールメリットが拡大
- ② 質の高い運用ルールを共同で運用可能。
利用者にとっても地域差がなく便利に

【共同利用イメージ】



2) 多様で質の高いサービス提供

- ① 大きなマーケット、共通ルール・共通仕様となり、データ提供・データ利活用が活性化
- ② 他地域で例のあるサービスの導入の容易化、データ拡充によるサービスの多様化、広域サービス展開の可能性

データ活用による広域観光サービス
(R7年度実証予定)



2. 共同利用のためのスキーム構築

- ◆ 2025年6月に設置した、41道府県が参画する「自治体データ連携基盤共用化研究会」の継続的な検討をベースに、複数団体で持続的にデータ連携基盤を共同利用するスキームを設計・構築する。

【共同利用のための論点】

合意形成スキーム

運用の一元化

データの標準化

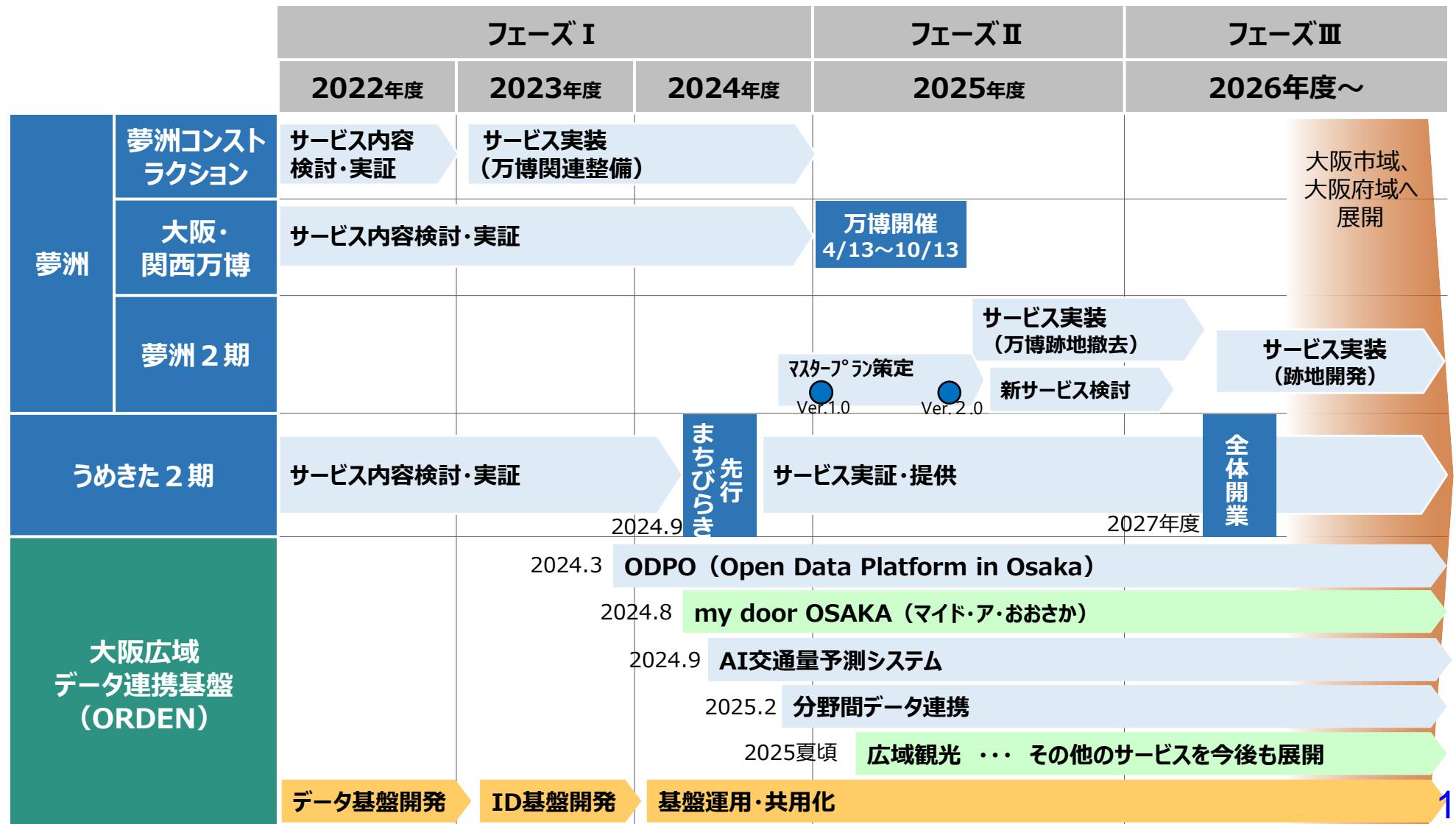
費用分担

責任分界

11

大阪のスーパーシティの流れ

- 先端的サービスを着実に実証・実装し、万博後にはデータ連携と規制・制度改革を両輪として、大阪市域、大阪府域へ展開していく。



參 考 資 料

- ▶全体計画に位置付けられた各プロジェクトの先端的サービスについて、万博までに以下のとおり実施済みとなる予定。
一部のサービスについては、提案後の事情変化等により、事業内容を変更しているものがある。
- ▶今後、これらの成果を夢洲・うめきた2期はもとより、これら以外のエリアにおいても活かしていくことが重要。

夢洲コンストラクション

(15サービス中 実施: 9件、概ね実施: 4件、実施せず: 2件)

(2025年3月末見込み)

大分類	先端サービス項目	実施状況	先端的サービスの状況
建設工事 現場内外 の移動の 円滑化	①データなどの活用による交通量予測に基づくピークシフト誘導	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪広域データ連携基盤(ORDEN)を活用した先端的サービスの調査検討を実施(2024年9月AI交通量予測モデル構築) ・夢洲周辺の一般交通量や通行台数を分析・予測し、事前に万博工事車両の通行可能台数を把握して工事車両調整等を実証
	②位置情報及びAIカメラによる車両管理	概ね実施	<ul style="list-style-type: none"> ・万博工事全体でAIカメラによる登録車両のナンバープレート自動照合を実施
	③カメラでの車両認識による入退場管理	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・万博工事全体でAIカメラによる登録車両の車両番号自動照合による入退場管理を実施
	④駅及び共同駐車場からのシャトルバス・デマンドバスの運転管理	概ね実施	<ul style="list-style-type: none"> ・シャトルバスサービスは、万博工事全体で工区バス乗降場を設置し、咲洲・舞洲から夢洲各工区への建設工事関係者の通勤バスを運行(定時定路線)
	⑤建設工事現場内及び夢洲内でのパーソナルモビリティの導入	実施せず	<ul style="list-style-type: none"> ・導入に向けた試乗会等を実施するなど、検討を進めたものの導入に至らず

大阪スупーパシティ全体計画の推進状況について（先端的サービス）

夢洲コンストラクション

（2025年3月末見込み）

大分類	先端サービス項目	実施状況	先端的サービスの状況
建設工事・資材運搬の円滑化	⑥BIM/CIMなどを活用した建設工事の効率化	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・製作施工、資材管理にBIMデータを活用 ・BIMモデルの工程情報を利用した工事進捗の可視化・管理システムを万博工事に適用 ・万博工事全体をメタバース化するCPS（サイバーフィジカルシステム）を一部導入
	⑦データ及びセンシングによる局所的な気象予測	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事向けAI気象予測サービスを実施 ・実証を経て、2025年度にサービス販売を予定
	⑧ドローンを活用した測量・工事管理	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンにて工事管理（施工状況確認・記録等）を実施
	⑨ドローンによる建設現場の見守り	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンによる工事管理、建設現場の見守り等を実施（自律型のAIドローンも活用）
	⑩ドローンによる資材などの運搬、作業現場域内の高所などへの資材配達	概ね実施	<ul style="list-style-type: none"> ・咲洲～夢洲間による資機材海上搬送（レベル3（目視外）飛行）の実証を実施 ・3D都市モデル×BIMを活用した陸上自動搬送（ドローン自動搬送連携実証を実施）
	⑪シャトルバスを活用した資材運搬（貨客混載）	実施せず	<ul style="list-style-type: none"> ・シャトルバスについては、万博工事全体で工区バス乗降場を設置し、咲洲・舞洲から夢洲各工区への建設工事関係者の通勤バスを運行（定時定路線）（貨客混載については、実証等に取り組んだが、工事関係者用駐車場が夢洲内に整備されたことで、必要性が生じていない状況）
	⑫遠隔型自動運転ロボットを用いた物資運送	概ね実施	<ul style="list-style-type: none"> ・自動搬送車両・サービスロボットを用いた資機材搬送について、建設現場での実証・試験適用を継続



ドローンでの高所確認（株）竹中工務店提供

大阪スーパー・シティ全体計画の推進状況について（先端的サービス）

夢洲コンストラクション

（2025年3月末見込み）

大分類	先端サービス項目	実施状況	先端的サービスの状況
建設作業員の安全・健康管理の円滑化	⑬AIによる顔認証での建設作業員の入退場管理	実施	<ul style="list-style-type: none">万博工事全体で顔認証技術による敷地共通の入退場管理システムを適用
	⑭バイタル情報及び位置情報によるリアルタイムでの安全・健康管理	実施	<ul style="list-style-type: none">バイタル情報及び位置情報によるリアルタイムでの安全・健康管理を実施作業所ごとの暑さ指数を可視化できるシステムにより、現場チャットアプリにて管理者、作業員にアラートを発報休憩場所に設置したAIカメラにて、作業に行こうとする作業員の熱中症リスクを判定
	⑮建設資機材の位置情報及びカメラ画像を活用した建設現場の安全管理	実施	<ul style="list-style-type: none">カメラ画像を活用した建設現場の安全管理を集中管理モニター室を設置して実施Webカメラを設置して、危険個所の監視を実施サーモグラフィカメラによる現場内の高温危険エリア管理(ドローン活用)



工事現場入場時の顔認証の様子（株）大林組提供

大阪スーパー・シティ全体計画の推進状況について（先端的サービス）

大阪・関西万博

(11サービス中 実施: 6件、事業内容を変更し実施: 5件)

(2025年3月末見込み)

大分類	先端サービス項目	実施状況*	先端的サービスの状況
大阪・関西万博で体験する近未来の医療・健康サービス	①ヘルスケアアプリ	事業内容を変更し実施	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリを2025年2月リリース。パビリオン体験に必要となるニックネームや生年月日、性別等の登録やパビリオンでの体験履歴の記録などのサービスを提供（見込み） 
	②まち中のスキャンマシン	事業内容を変更し実施	<ul style="list-style-type: none"> ・当該スキャンマシンの名称を「カラダ測定ポッド」とした（「ミライへのゲート」ゾーンに設置） ・パビリオン来館者には、健康データを測定する「カラダ測定ポッド」に入っていただき、心血管や筋骨格、肌・髪等の測定したデータをもとに生み出される25年後の「ミライのじぶん」アバターとともに、2050年の「ミライの都市生活」の体験を提供
	③都市移動用のモビリティ	事業内容を変更し実施	<ul style="list-style-type: none"> ・当該モビリティの名称を「ミライのライド」とした（「ミライへのゲート」ゾーンに設置） ・当初予定していた健康データの測定は、②まち中のスキャンマシン（カラダ測定ポッド）で実施
	④ミライのフード体験	事業内容を変更し実施	<ul style="list-style-type: none"> ・当該コンテンツの名称を「パーソナルフードスタンド」とした（⑤ミライのヘルスケア体験の1コンテンツとして展開） ・パビリオン来館者に質問に答えてもらうことで、食に関するアドバイスやサンプル提供等を実施
	⑤ミライのヘルスケア体験	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・食や美容、フィットネス等をテーマとした協賛企業による様々な展示コンテンツを展開
	⑥ミライの医療	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・当該展示の名称を「ミライの都市」とし、医療のみならず、住まいや公共空間を含め様々な観点から体験できるゾーンとして、協賛企業による様々な展示コンテンツを展開

*ヘルスケアアプリの先行リリースを除き、4月13日（日）からの万博開催期間に実施

大阪スーパー・シティ全体計画の推進状況について（先端的サービス）

大阪・関西万博

(2025年3月末見込み)

大分類	先端サービス項目	実施状況*	先端的サービスの状況
大阪・関西万博における自動運転車	⑦万博会場へのアクセスの一部において、EV（電気）バスなどの自動運転（レベル4相当）を公道で実施	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者において車両の改造等を進めるとともに、自動運転に係るインフラを整備し、万博開催時の走行ルートで実証実験を実施 ・2025年4月よりサービス提供開始 〔新大阪駅・大阪駅ルート 舞洲駐車場～万博会場〕 
	⑧万博会場内の移動の一部において、EV（電気）バスの自動運転（レベル4相当）を走行中給電などの新技術を搭載し実施	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者において車両の改造等を進めるとともに、自動運転に係るインフラを整備し、万博開催時の走行ルートで実証実験を実施 ・2025年4月よりサービス提供開始（万博会場内の外周道路）
大阪・関西万博における空飛ぶクルマ	⑨大阪市内、関西の主要空港、観光地を結ぶアクセス整備を、空飛ぶクルマの社会実装で実現	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・万博において遊覧飛行や2地点間運航などを実施予定 ANAホールディングス/Joby Aviation Inc.: 湾岸周辺エリアの飛行 Soracle(住友商事・日本航空のJV): 会場～舞洲大阪ヘリポート 丸紅: 会場～尼崎フェニックス SkyDrive: 会場～中央突堤 
MaaSによる移動の円滑化	⑩OSAKAファストバス（仮称）	事業内容を変更し実施	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの実証等を経て、万博時における大阪市内の渋滞緩和に寄与するため、駐車場事業者や商業施設等と連携したパークアンドライド推進施策の実装に向けて、事業者において取り組むよう努めているところ ・具体的には、大阪市内の大型イベントへの来場者を対象に、大阪市外の提携駐車場に駐車し、公共交通機関でイベント会場へ移動すると、インセンティブとして特定の大型商業施設で使用できるプレミア付きのデジタル商品券を購入可能とする方向で調整中
	⑪関西MaaS協議会によるMaaSサービス	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年9月5日に関西・鉄道7社が共同開発したアプリ「KANSAI MaaS」をリリース。2024度には万博シャトルバスチケットの販売開始やQR電子チケットの強化を実施 ・引き続き関西MaaS協議会により観光、交通に関する電子チケット等のサービスを実施

※⑦⑧⑨は、4月13日（日）からの万博開催期間に実施

大阪スーパー・シティ全体計画の推進状況について（先端的サービス）

うめきた2期

(12サービス中 実施: 9件、未実施: 3件)

(2025年3月末見込み)

大分類	先端サービス項目	実施状況	先端的サービスの状況
ヒューマンデー タ利活用に資 するプラット フォームの提 供	①ヒューマンデータと AI分析などによるエ ビデンスに基づく健 康増進プログラム	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年3月21日開業の「うめきた温泉 蓼」において、デジタルと健康・医療・ウェルビーイングを掛け合わせたサービスを提供 (計測データの履歴などを確認でき、症状や目的に応じた過ごし方を提案するアプリも導入) 
パーソナルモ ビリティサービ スのシェア サービス	②パーソナルモビリティ によるエリアの回遊 性やラストワンマイ ルの移動快適性の 向上	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年9月の先行まちびらき時に、電動マイクロモビリティのシェアリングサービス「LUUP」のポートを導入
先端技術を 用いた公園 内・建物内に おける施 設管理、配送 などのマ ネジメント高 度化	③画像解析を用いた 施設管理（AIカメ ラやビーコン、セン サーなど）	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・AIカメラや3Dモデルの活用等による維持管理・運営業務の効率化等に向けて、実証実験を実施(2024年度～2026年度予定)
	④ICTを活用した「み どり」管理（ICT、 ロボットなどの活 用）	未実施	<ul style="list-style-type: none"> ・公園全面開業(2026年度予定)以降のサービス実証に向け、うめきた公園の植栽管理業者とともに、サービス内容等について協議・準備中

大阪スーパー・シティ全体計画の推進状況について（先端的サービス）

うめきた2期

(2025年3月末見込み)

大分類	先端サービス項目	実施状況	先端的サービスの状況
リアルとデジタルの融合した都市空間＝ Parknessを実現するための DX 推進	⑤デジタルサイネージや LEDビジョンなどを用いた感性をシェアする空間の創造	実施	<ul style="list-style-type: none"> 公園内及び公園施設にデジタルサイネージを設置し、運用開始
	⑥ミラーワールドを構築し、MR技術により現実と重ね合わせることで、絶景・癒し・ホラーなど、多種多様なテーマの世界を体験できるイベントを検討	実施	<ul style="list-style-type: none"> うめきた公園を舞台に、現実世界と仮想空間が融合した新たな空間エンターテインメントプロジェクト「ミラージュ大阪」を実証中（～2025年12月31日） 
	⑦Social Goodな活動を行った会員に対し、公園で提供するサービスに利用できるポイントの発行	未実施	<ul style="list-style-type: none"> 2024年度、うめきた公園等において、クリーンアップ活動の実証実験を実施（アプリを介し、参加者に対してまちの商業施設等で使えるポイントの進呈） 上記のほか、2022年度国土交通省スマートシティ実装化支援事業における実証内容も踏まえ、実施可否を含め継続検討予定（2025年度以降）
	⑧来街者に対する混雑状況などの提供	未実施	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度国土交通省スマートシティ実装化支援事業における実証内容を踏まえて、実施可否を含め継続検討予定（2025年度以降）
	⑨都市公園の行為許可・占用許可などの行政手続きのオンライン化	実施	<ul style="list-style-type: none"> 占用許可、設置許可については、大阪市においてオンライン化対応済み 行為許可については、オンライン化するとともに、支払い手続きのキャッシュレス化により、効率的に業務を推進

大阪スупーৰシティ全体計画の推進状況について（先端的サービス）

うめきた2期

（2025年3月末見込み）

大分類	先端サービス項目	実施状況	先端的サービスの状況
リアルとデジタルの融合した都市空間＝ Parknessを実現するためのDX推進	⑩リアルタイム・オンラインサービスを支える大容量通信網（ローカル5Gなど）の整備	実施	<ul style="list-style-type: none">キャリア5GやWi-Fi等による通信環境を整備（今後、状況変化等（新たな利用者ニーズなど）が生じた場合、ローカル5G等適切な通信環境について検討）
	⑪先端的な技術や先駆的サービスを通じた「様々な体験価値」を市民や来街者に提供し、市民のQoL向上とライフデザインイノベーションを実現する環境の整備	実施	<ul style="list-style-type: none">先行まちびらき記念のオープニングイベント（3日間で約50万人来場）をはじめ、定期的なイベントとして、「YOSETE UMEKITA」（芝生で音楽・ダンス等を楽しむ企画）や、「UMEKITA PUBLIC SCOOP」（アフター5等に気軽に参加できる講座・体験型プログラム）等を実施中2024年度内閣府調査事業として、キッチンカーによる提供サービス拡大に向けた調査を実施（11月に実証イベント実施済、3月末に実施成果をとりまとめ）
駅を活用したまちなか・便利なヘルスケア環境の構築	⑫Station Health Care	実施	<ul style="list-style-type: none">大阪・関西万博の大阪パビリオンへの協賛の展示物として「カラダ測定ポッド」を大阪主要駅に設置これを活用してパビリオンが健康データを取得していく見込み

大阪広域データ連携基盤【ORDEN】のサービス

1. my door OSAKA(マイド・ア・おおさか)

あなた向けの行政サービス がスマホの中に！



大阪府と府内市町村を ワンポータル／ワンID化



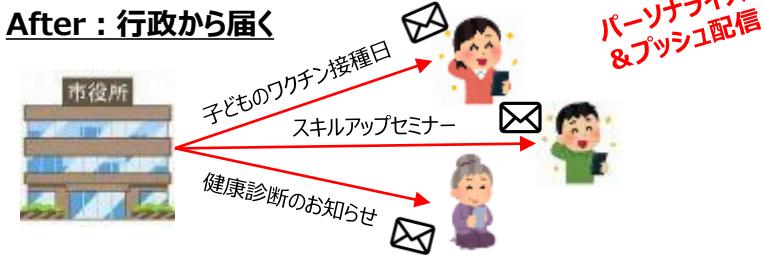
1) 探さない情報 → 行政から必要な情報が、タイミングよく、直接あなたに届く

Before : 自分で探す



- 自分で探さなくちゃ
 - 探しても見つからない
 - 期限が過ぎている

After : 行政から届く



2) 行かない役所 → 煩雑だった行政手続きが、オンラインでワンストップ化

Before : 窓口で手続



給付金やワクチン接種では窓口の混雑が発生

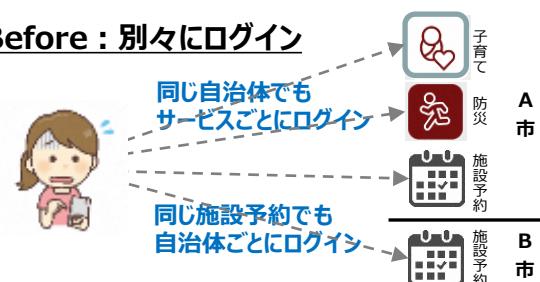
After : オンラインで完結

全ての手続きをスマホやPCで完結



3) 繋がるサービス ➡ 複数のデジタルサービスに、1回のログイン（ID・PW入力）で簡単に繋がる

Before : 別々にログイン



After: 1回のログイン

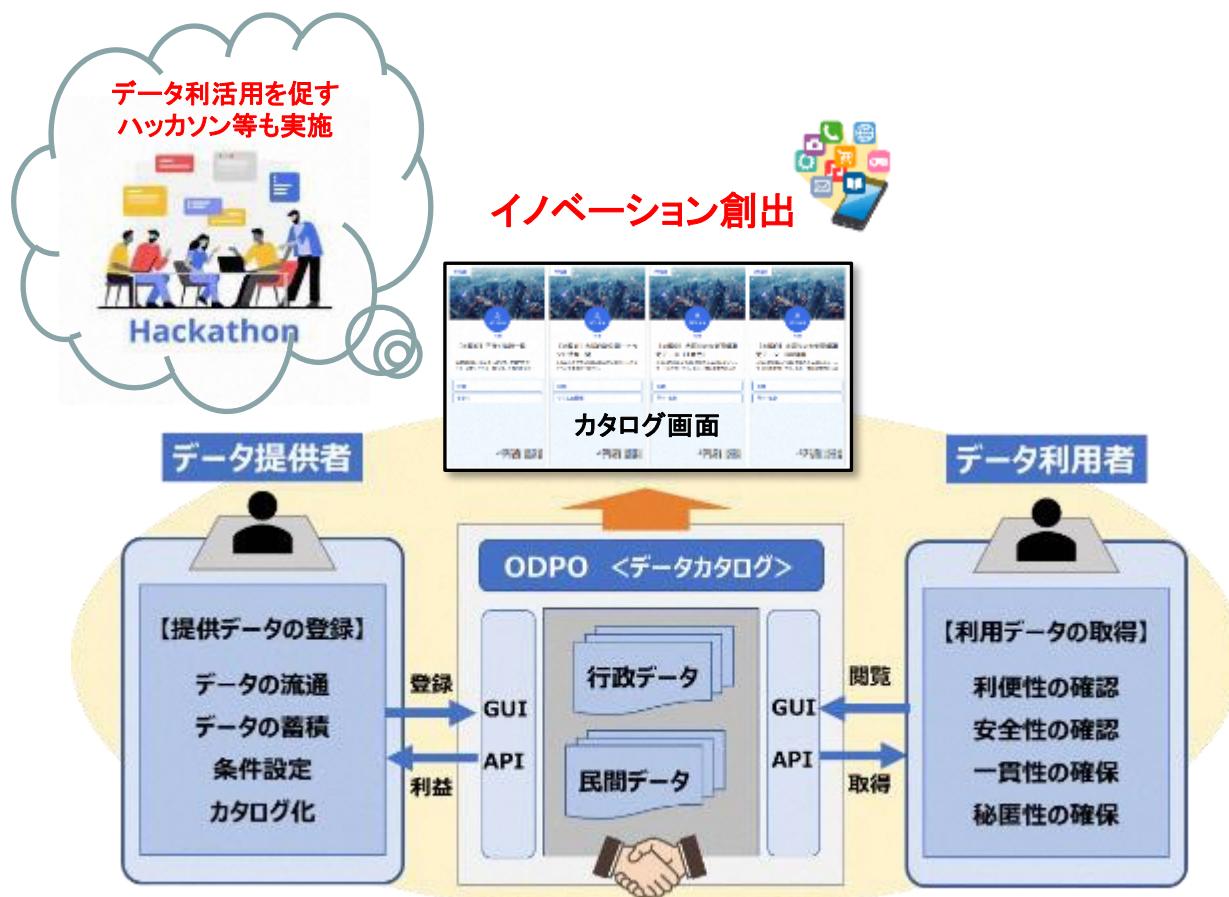


ID統合 &
シングルサインオン

大阪広域データ連携基盤【ORDEN】のサービス

2-1. ODPO (Open Data Platform in Osaka)

データの提供者とデータの利用者を繋ぎ、新たなサービスを生み出すデータカタログ
ODPOには官民の多様なデータが一覧化され、データ利活用を促進する



2025.3.15現在

内訳	全データ	うち民間
登録団体数	57	47
掲載カタログ数	582	27
掲載データ数	2,159	65

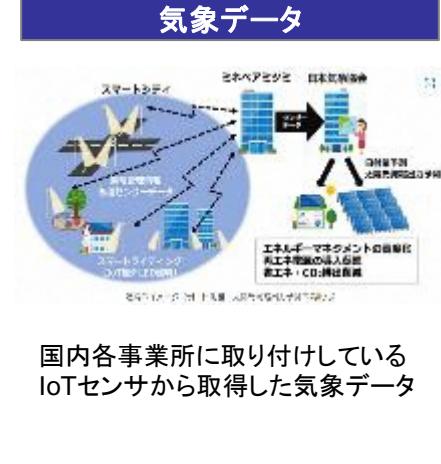
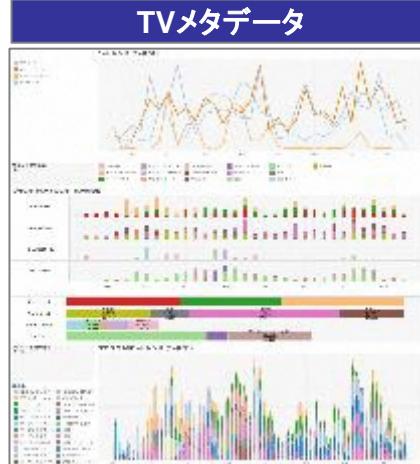
＜掲載データの例＞ ※予定を含む

No.	行政データ	民間データ
1	介護サービス事業所一覧	プローブカーデータ
2	指定文化財一覧	交通量予測データ
3	公衆無線LANポイント一覧	人流データ
4	公衆トイレ一覧	気象予想データ
5	子育て施設一覧	工事車両データ
6	保育施設一覧	GPSデータ
7	赤ちゃんの駅一覧	購買行動データ
8	バリアフリートイレ情報一覧	地下鉄駅乗降客データ
9	犯罪発生情報	全国インバウンド統計データ
10	花粉情報	食の消費行動データ
11	大気環境観測データ	事故発生リスクデータ
12	水辺空間一覧 (寝屋川流域)	TVメタデータ
13	大阪府営公園一覧	電柱位置情報
14	イベント情報	洪水害・土砂災害予測データ
15	市町村のオープンデータ*	万博関連データ

* オープンデータを公開している30市町村のデータを掲載
(一部BODIKからのAPI連携あり)

大阪広域データ連携基盤【ORDEN】のサービス

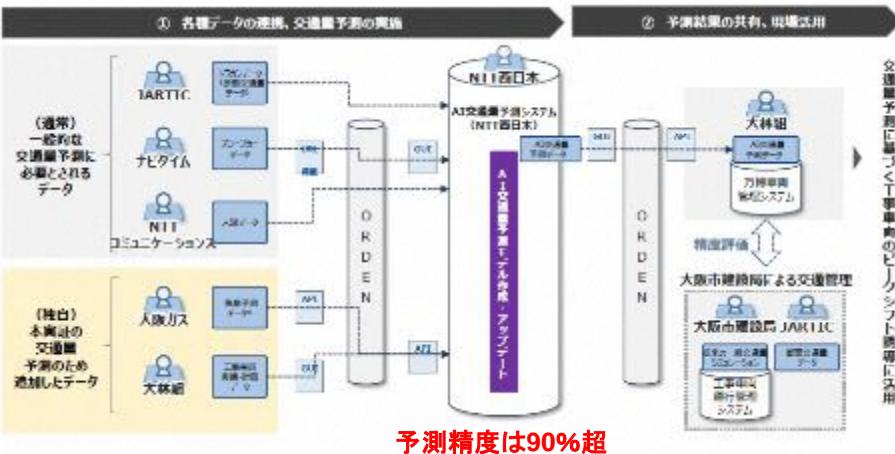
2-2. ODPO 民間掲載データの主なもの



大阪広域データ連携基盤【ORDEN】のサービス

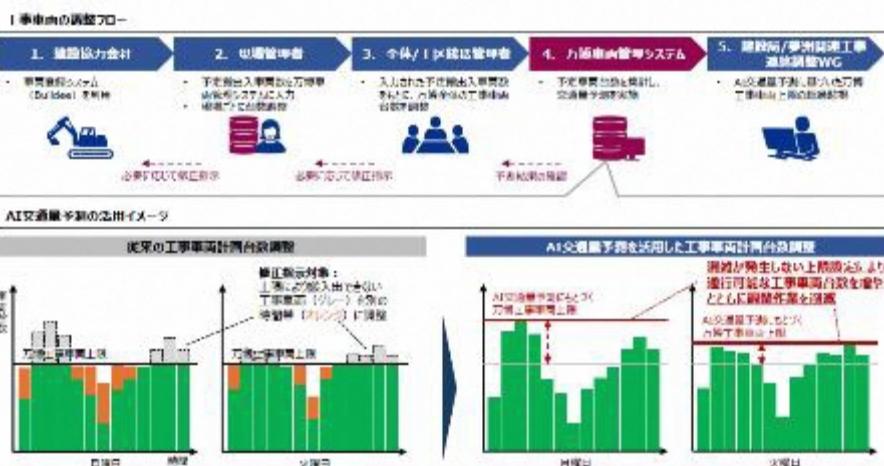
3. スーパーシティ AI交通量予測サービス(夢洲コンストラクションモデル)

夢洲におけるAI交通量予測システムの活用実績



AI交通量予測システム（夢洲モデル）の横展開案

活用シーン（案）	活用方法	受益者
交通渋滞対策	データの活用	自治体
道路管理	道路の渋滞や劣化がどの程度進むかも予測し、効率的なメンテナンス計画を立てることで、道路の管理を楽にする。	イベント事業者 交通事業者 車両運送事業者
イベント時の交通管理	大規模イベント開催時に、交通量予測に基づいて事前に交通規制やシャトルバスの配車、駐車場の台数管理を調整することで、交通を最適化する。	公共交通機関
公共交通機関の調整	バスや電車の運行本数やタイミングを調整することで、公共交通機関の運行効率を向上させ、利用者の待ち時間を短縮する。	物流・配達事業者
物流・配達の最適化	渋滞を避けるルートや、配達の最適なタイミングを導くことで、コスト削減や時間短縮が実現する。	観光事業者 DMO 観光協会
観光アクセス最適化	交通手段の増発や駐車場の確保などを事前に計画することで、観光地へのアクセスを最適化する。	スマートシティ 滞留事業者
スマートシティの活用	都市全体の交通インフラを効率的に管理し、エネルギー効率の向上やCO2排出の削減を図るうえで、スマートシティの構築を推進する。	



万博会場周辺以外の交通状況の確認箇所

凡例

- 万博会場への主要アクセスルート (高速道路含む)
- 主要アクセスルートを補完するルート
- 万博会場周辺以外



大阪広域データ連携基盤 【ORDEN】 ロードマップ

- スーパーシティのデータ連携基盤として、大阪広域データ連携基盤【ORDEN】は様々なサービスを実装しながら実績を積み重ね、全国の自治体をリードする基盤として数多のテーマに挑戦し、日本のデータ駆動型社会をけん引する。

